

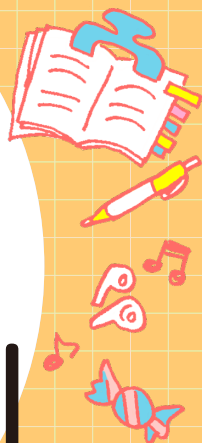


2026

授業
アンケートから

学生の 選んだ 「いい授業」

Tokai Univ. Teaching Award
Prize Winners List 2026



TOKAI UNIVERSITY



◆一緒につくろう!『いい授業』◆

学生の皆さんへ

今回も、皆さんにご協力をお願いした「授業についてのアンケート」の結果に基づき、「いい授業」を行っている先生方を「東海大学 Teaching Award」として表彰しました。受賞された先生方の授業は、リアルタイムでの双方向性を重視し、より学生みなさんが主体的に学ぶアクティブラーニングを取り入れています。まさに、東海大学が社会的実践力を養うために設定した「4つの力」を身につけることができる授業です。これらの授業を通して、「自ら考える力」「集い力」「挑み力」「成し遂げ力」を身につけてください。

より良い授業を運営するには、学生の皆さんの声が必要です。これからもアンケートの回答にご協力いただき、皆さんと一緒により良い大学を創りましょう。

東海大学 学長 木村 英樹



「4つの力」でいい授業をつくろう

やあ! 僕はリッキー! 東海大学の「4つの力」イメージキャラクターだよ!

2009年に東海大学が社会的な実践力を養うための具体的な教育目標(育成する力)としてこの「4つの力」を策定したんだ。

「4つの力」とは、「自ら考える力」「集い力」「挑み力」「成し遂げ力」の4つ。

自ら考える力

常に未来を見据え自らが取り組むべき課題を探究する力

集い力

多様な人々の力を結集する力

挑み力

困難かつ大きな課題に勇気をもって挑戦する力

成し遂げ力

失敗や挫折を乗り越えて目標を実現していく力

僕と一緒に「いい授業」をつくりましょう!!

東海大学の「4つの力」
イメージキャラクター リッキー



2026 学生之选だ「いい授業」

Tokai Univ. Teaching Award Prize Winners List 2026

◆ 優秀賞受賞者（2025年度選出）◆

文化社会学部
心理・社会学科
たなか まさし
田中 将司先生



情報理工学部
情報メディア学科
こさか たかゆき
小坂 崇之先生



工学部
応用化学科
まつまえ よしはる
松前 義治先生



農学部
動物科学科
いねなが としあき
稲永 敏明先生



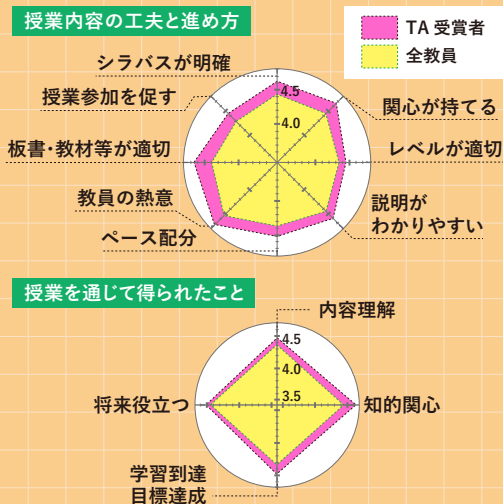
語学教育センター
留学生支援教育学系
くらた なおみ
倉田 尚美先生



選考方法 東海大学では「教育の質向上」のために、1993年度から学生による授業アンケートを行っています。1年間に開講された全ての科目の授業を対象に、「授業についてのアンケート（Web方式で実施）」の「総合評価平均評価点」、「科目履修人数」、「アンケート実施率」等の結果を考慮し、学長室を中心に厳正なる審査を行いました。

TA受賞者と全教員を比較

※2025年度実施結果



今回の総合評価は…

2025年度秋学期の平均

4.49
(5点満点中)

[全科目の推移(全教員)]





文化社会学部 心理・社会学科

田中 将司^{先生}

Tanaka Masashi

E-mail : ntg3734@tokai.ac.jp



経験に根ざして学ぶ、話す

私は大学生のときディスカッションがとても苦手でした。心理学という高校になかった分野の学びは大変で、「ディスカッション」といわれても何にも分かっていない…」と思っていましたし、初対面の人がグループにいれば、緊張して当たり障りのないことしか言えなかった記憶があります。現在も同様の苦しさを抱える学生は少なくないと感じています。そのため、私自身の経験にも根ざし、学生に身近なことから授業を展開したり、FormsやMentimeterなど、SNSに近いコミュニケーションツールを使ってワークを行ったりすることで、「自分の経験に基づいて理解できた!」「これなら思っていることを素直に話せた!」が少しでも増やせたら、と心がけています。



【学 位】博士(心理学)
【専門分野】臨床心理学／人間性心理学
【主要授業担当科目】教育・学校心理学／ジェンダー論／心理学研究法

田中先生の『授業をよくするため』のテクニック



学生の身近な経験から授業を展開するようにつとめています。学生との雑談において、「最近何に関心があるのか」「どのような経験をしているのか」といった身近な経験に常にアンテナを張っています。



FormsやMentimeterなど、SNSに近いコミュニケーションツールを使ってワークを行ったりすることで「これなら思っていることを素直に話せる!」が少しでも増えたら、と心がけています。



早口になりがちな点を意識し、要所で質問時間を設けたり、教員と直接話せる時間を確保したりしています。繰り返し説明を聞ける機会を設けるようつとめています。

「いい授業」のために私はコレを活用

Microsoft Forms, Mentimeter

リアルタイムで質問や感想を募り、その場で返答をする、SNSに近いコミュニケーションを図るために採用しています。「些細なこと」と考えてしまうことも話せるような授業づくりにつとめています。

学生VOICE!!



柴 俊輔さん Shiba Shunsuke
文化社会学部 心理・社会学科 4年次生

田中先生の授業の特徴は、自由という言葉がいちばん合うと思います。例えば、授業ではForms等に授業に関する回答だけでなく、今の自分の気分や感情など自由に書き込むことができます。授業内容も、社会的課題を抱えた方々の活動や背景など様々な知見を得ることができ、理解が深まりました。学生との交流や知識を深める楽しさを兼ね備えた授業をしてくれそうです。

▶ 授業内容はTIPS(Tokai Information Portal Site)「シラバス参照」で確認!

春学期	科目名	必選	単位	開講校舎
	教育・学校心理学	選	2	湘南
	ジェンダー論	選	2	湘南
	心理・社会学研究A	選	2	湘南

秋学期	科目名	必選	単位	開講校舎
	心理学研究法	選	—	湘南

田中先生の
2026年度の
授業



情報理工学部 情報メディア学科

小坂 崇之^{先生}

Kosaka Takayuki

E-mail : kosaka.takayuki.g@tokai.ac.jp



【学 位】博士(工学)
【専門分野】EC / HCI / VR
【主要授業担当科目】コンテンツ系

作って学び、伝えて深めるプログラミング教育

本学科の授業では、単なる知識の習得にとどまらず、学生が自ら考え、作り、振り返ることを重視しています。プログラミングの授業では、文字情報だけでなく、図形描画やゲーム制作など視覚的に理解しやすい課題を取り入れ、楽しさや達成感を通して学べるよう工夫しています。また、試遊



会や相互評価を実施し、「誰のための作品か」「何が面白いのか」を考えさせることで、企画力や表現力も育成しています。さらに、匿名で質問できる「CommentScreen」を活用し、授業中の疑問や意見を共有しながら双方向型の授業運営を行っています。

小坂先生の『授業をよくするため』のテクニック

わかりやすく
やる

図形描画やアニメーションなど、結果が目に見える課題を用い、プログラムの動作を視覚的に理解できるよう工夫しています。

主体的に
学ぶ

作品制作や試遊会、相互評価を通して、自分で考え、他者の意見を取り入れながら改善する学びを重視しています。

聞き取り
やすくする

要点を区切って説明し、画面上の実演や資料提示を交えながら進めることで、話の流れを追いやし授業の心がけています。

「いい授業」のために
私はコレを活用

CommentScreen

匿名で質問や意見を投稿できる仕組みを利用して、授業中に学生の疑問を共有しながら補足説明を行っています。

学生VOICE!!

伊藤 竜誠 さん Itou Ryusei
情報理工学部 情報メディア学科 3年次生

小坂先生の授業ではUnityでゲームを作り、他の学生が作成したゲームを評価しました。100名以上の学生からフィードバックが届き、制作したゲームについて振り返ることができました。また、「CommentScreen」を通じて、授業中すぐに質問することができました。個別でゲームの評価・アドバイスを進路相談などもしていただける、とても頼れる先生です。



小坂先生の
2026年度の
授業

▶授業内容はTIPS(Tokai Information Portal Site)「シラバス参照」で確認!

春学期	科目名	必選	単位	開講校舎
	メディアプログラミング2A	選	2	湘南
	メディアコンテンツ発展講義・演習A	選	2	湘南
	メディアコンテンツ基礎講義・演習A	選	2	湘南

秋学期	科目名	必選	単位	開講校舎
	メディアコンテンツ基幹講義・演習A	選	2	湘南
	メディア数学A	選	2	湘南



工学部 応用化学科

松前 義治 先生

Matsumae Yoshiharu



【学 位】博士(学術)
【専門分野】電気化学／分析化学／エネルギー化学
【主要授業担当科目】分析化学A／分析化学B／電気化学／英文購読／応用化学実験1・2

難しい内容でも楽しく理解したくなるように

能動的・主体的に授業参加できるように多くの授業でアクティブ・ラーニング形式を導入しています。「分析化学A」では、講義開始時に予習内容確認小テストを実施して予め学んだ内容を授業内で復習するような、反転授業の形式をとっています。また、授業中の演習問題、授業最後の振り返りクイズ、授業後の課題を通して、内容理解の促進を図っています。全授業で毎回実施するアンケート結果から、学生の視点や意見を取り入れながら授業内容を毎年ブラッシュアップしています。授業内容以外の部分で学生が置いてけぼりにならないように授業資料・進行方法・話し方などに細心の注意を払い、熱意を込めて授業を実施しています。



松前先生の『授業をよくするため』のテクニック

わかりやすく
する

板書の書き写しではなく授業内容の理解に集中してもらうため、見やすわかりやすい授業スライドを用意し、必要に応じてメモを取る形式にしています。関連雑学も紹介し、楽しく理解できる授業を目指しています。

主体的に
学ぶ

頭を使って考えたり実際に手を動かしたりして少しでも楽しく学べるように、授業スライドに穴埋め問題・クイズ・練習問題などを入れています。授業最後には、振り返りクイズや授業への意見募集も実施しています。

聞き取り
やすくする

初学者や留学生にも聞き取りやすいように話す速度・声量・活舌・使う単語に注意しています。授業スライドの構成や配置、視認性(文字サイズ・フォント・色)、画面切り替えの速度やタイミングにも気をつけています。

「いい授業」のために
私はコレを活用

Teams

専用のチームとチャネルを作成して授業関連情報をまとめ、必要な情報へ学生が簡単に辿り着けるようにしています。例えば、毎回の予習箇所を専用チャネルに投稿し、授業前日にもリマインドをかけています。

学生VOICE!!

高梨 智喜さん Takanashi Tomoki
工学部 応用化学科 3年次生

松前先生の授業は、小テストと課題により知識の定着を図るだけでなく、予習と復習の習慣も自然と身につけることができます。また、身近な話題も交えながら授業をしてくださるため内容に興味を持ちやすく、コマンラバスで各回の目的や目標が示されるため意欲的に学習に取り組むことができます。課題では1人1人にフィードバックをしてくださり、フランクで優しく、生徒と真摯に向き合ってください先生です。



松前先生の
2026年度の
授業

▶ 授業内容はTIPS(Tokai Information Portal Site)「シラバス参照」で確認!

春学期	科目名	必選	単位	開講校舎
	分析化学A	選	2	湘南
	分析化学B	選	2	湘南
	応用化学実験1	選	2	湘南

秋学期	科目名	必選	単位	開講校舎
	電気化学	選	2	湘南
	英文購読	選	2	湘南
	応用化学実験2	選	2	湘南



農学部 動物科学科

稲永 敏明 先生

Inenaga Toshiaki

E-mail : inenaga.toshiaki.s@tokai.ac.jp



【学 位】博士(獣医学)

【専門分野】家畜衛生学

【主要授業担当科目】動物衛生学／動物管理・環境学

授業を他人事ではなく自分事に

生産現場に近いところで働いていた経験から、授業を単なる単位取得のために他人事として聞くのではなく、卒業後に役に立つ自分事として理解してほしいと考え、授業をすることを心がけています。

このために、事実だけを伝えるのではなく、その理由をセットで伝え、また、学生にとって身近と思われる話に例えて説明をするようにしています。実際に伝わっているかどうか、毎回の授業の最後に重要ポイント3つを出欠を兼ねて、その場でFormsを利用して提出してもらい、どのように伝わったかを把握しています。次の回の授業の冒頭で、この重要ポイントを使って前回の復習を行ない、授業で足りなかった点を補っています。



稲永先生の『授業をよくするため』のテクニック

わかりやすく
する

「動物の病気」は多くの学生にとっては身近な話ではないため、授業内容を自分事としてイメージしてもらうために、新型コロナウイルス感染症や季節性インフルエンザなどのこれまでに罹患したことのあるであろう身近な例で例えています。

主体的に
学ぶ

「何らかの動物を飼育管理している自分」をイメージしてもらい、大事と思ったところについては、ノートをとってもらうようにしています。授業内容と卒業後の仕事内容との関係についても言及し、「将来必要となる知識である」ことを感じてもらいたいと思っています。

聞き取り
やすくする

相手を気にかけて間をとるようにしています。説明した内容について、ノートを取る時間を確保するというより、自分の頭でイメージする時間を取っています。また、なるべく大きな声でしゃべること、大事なところは強調するようにしています。

「いい授業」のために
私はコレを活用

OpenLMS(授業支援システム)

資料配布はせず、OpenLMSに授業のスライドをアップしておき、何も考えずにスライドに書いてあることをノートに写す、ということになるべくしないように伝えています。

学生VOICE!!

牧田 虹色 さん Makita Nana
農学部 動物科学科 4年次生

稲永先生の授業は、1回目の授業で学習する内容と関連付けた時事的な話題を取り上げるため、2回目以降の授業でも流れや内容を理解しやすかったです。また、実際に現場で働かれていたこともあり質問をした時も具体的に明確な解説をしてくれました。研究の一環で取材をする際も、実際に見学や解説をしてくれたりするので、楽しく研究に取り組みます。



稲永先生の
2026年度の
授業

▶授業内容はTIPS(Tokai Information Portal Site)「シラバス参照」で確認!

春学期	科目名	必選	単位	開講校舎
	動物衛生学	選	2	臨空
	家畜人工授精論	選	2	臨空

秋学期	科目名	必選	単位	開講校舎
	動物管理・環境学	選	2	臨空



語学教育センター 留学生支援教育学系

倉田 尚美先生

Kurata Naomi

E-mail : nkurata@tokai.ac.jp



【学 位】博士(応用言語学)

【専門分野】社会言語学・外国語・第二言語・継承語としての日本語学教育・学習

【主要授業担当科目】日本語と教育B／日本語教育方法論／社会言語学特論／日本の文化・社会

みんなでつくる学び合いの環境

授業では、社会とことばのつながりに関する理論や言語教育に関する概念等を、身近な例をあげて解説したり、学生や私自身の具体的な言語学習・教育の経験と関連付けたりしながら、理解を深められるよう心がけています。また、異なる学年・学科・国籍が入り混じったグループでの話し合いを行い、自分とは違う視点からの意見を聞くことで、様々な気付きや学び合いが起き

るようにしています。さらに、勉強や対人関係のストレス等により精神的なケアを必要とする学生が増えていると感じるため、グループ活動の前にはアイスブレイクの時間を設けたり、定期テストの予想問題もグループで出し合ったりして、心理的負担を軽減するように努めています。



倉田先生の『授業をよくするため』のテクニク

わかりやすくする

授業中に質問することが苦手な学生の支援や、授業前後の学びを促すため、予習シートや授業シートを作成し、授業の冒頭には前の週に書かれた質問に回答し、示唆に富むコメントを紹介する時間を設けています。

主体的に学ぶ

グループ活動を通して、異なる視点からの意見も受け入れながら、自分の意見を述べる力を伸ばすことを目指しています。また、個人で調べ学習を行い、その内容をグループ内でわかりやすく報告する力を身につけてもらいます。

聞き取りやすくする

口頭での説明では、漢語よりも和語をなるべく使うこと、重要な用語、概念等の説明については、特にゆっくり強調して話し、必要に応じて繰り返して、理解を促すことを心がけています。

「いい授業」のために私はコレを活用

Padlet (コメント共有のできるオンライン掲示版)

グループ活動で出た意見を各グループが投稿し、それをクラス全員で共有することで、全体ディスカッションに繋がられます。定期テストの前には、予想問題とその解答例もグループごとに投稿し、試験前の復習に役立っています。

学生VOICE!!

原 琴菜さん Hara Kotona

文学研究科 日本文学専攻 博士課程前期 1年次生

倉田先生の授業の最大の魅力は、グループワークを中心に授業が進むことです。日本語教育の授業には、さまざまな学科や出身国の学生が履修しており、学生同士で意見を共有しながら学ぶことで、多様な視点や考え方に触れることができます。これは、将来日本語を教える立場を目指す学生にとって大きな学びになっています。一人一人の意見が尊重される、倉田先生の授業ならではの温かい雰囲気の中で、主体的に学ぶことができます。



倉田先生の
2026年度の
授業

▶授業内容はTIPS(Tokai Information Portal Site)「シラバス参照」で確認!

	科目名	必選	単位	開講校舎
春学期	日本語と教育B	選	2	湘南
	日本の文化・社会	選	2	湘南
	社会言語学特論	選	2	湘南

	科目名	必選	単位	開講校舎
秋学期	日本語教育方法論	選	2	湘南
	世界と日本	選	2	湘南
	日本語教授法研究2-2	必	2	湘南



学生の選んだ「いい授業」 受賞者一覧 (2002～2025年度)

※退職者、名誉教授、掲載辞退者を除いています。
※現在の所属名称で表示しています。

マークの見た方 優秀賞 '00:受賞年度 '00年:受賞年) *...2007年度以前の「優秀賞」を示す。(2007年度以前は選考方法が異なり最優秀賞と優秀賞があるため)

文学部	文明学科	井野上 眞弓 先生	15
文化社会学部	北欧学科(団体受賞)		14
	文芸創作学科	堀 啓子 先生	07年
		青山 七恵 先生	22
	広報メディア学科	笠原 一哉 先生	19
		片山 淳 先生	24
	心理・社会学科	浅井 千秋 先生	07
		有沢 孝治 先生	06 08
		田中 将司 先生	25
教養学部	芸術学科	梶井 龍太郎 先生	03 04
児童教育学部	児童教育学科	及川 留美 先生	23
体育学部	体育学科	内田 匡輔 先生	18
	武道学科	天野 聡 先生	12
	生涯スポーツ学科	野坂 俊弥 先生	17
健康学部	健康マネジメント学科	西垣 景太 先生	22
経営学部	経営学科	森山 弘海 先生	03 04
		岩谷 昌樹 先生	06 09
		内藤 陽子 先生	24
国際学部	国際学科	荒木 圭子 先生	15
		小山 晶子 先生	16
		小貫 大輔 先生	07 10
		田辺 圭一 先生	18
観光学部	観光学科	本田 量久 先生	21
		山口 有実子 先生	23
情報通信学部	情報通信学科	星野 祐子 先生	22
		鍋井 理沙 先生	21
理学部	数学科	小川 竜 先生	16
		古谷 康雄 先生	06
		長井 秀友 先生	24
	物理学科	遠藤 雅守 先生	05
	化学科	関根 嘉香 先生	03 04 08
情報理工学部	コンピュータ応用工学科	浅川 毅 先生	02 07
	情報メディア学科	濱本 和彦 先生	02
		内田 理 先生	05
		小坂 崇之 先生	25
工学部	航空宇宙学科航空宇宙学専攻	池田 知行 先生	19
	航空宇宙学科航空操縦学専攻	新井 直樹 先生	13

工学部	機械システム工学科	加藤 英晃 先生	20
	電気電子工学科	大山 龍一郎 先生	06
	生物工学科	笹川 昇 先生	22
	応用化学科	浅沼 徳子 先生	23
		松前 義治 先生	25
		シュロズブリー マーク リチャード 先生	11
医学部	医学科外科学系	増田 良太 先生	21
	看護学科	石井 美里 先生	07
海洋学部	海洋生物学科	村山 司 先生	04 07年
		岡田 夕佳 先生	15
文理融合学部	経営学科	田中 靖久 先生	09 13
	地域社会学科	セタキス ラリー ジョン 先生	23
農学部	農学科	松田 靖 先生	06
	動物科学科	今井 早希 先生	19
		櫻村 敦 先生	17
		佐藤 祐介 先生	24
		稲永 敏明 先生	25
国際文化学部	地域創造学科	植田 俊 先生	19
		広川 龍太郎 先生	07
		山田 秀樹 先生	15
		田川 正毅 先生	07
		塚本 未来 先生	23
	国際コミュニケーション学科	ディーン エリック スティーブン 先生	18
		藤森 修 先生	17
生物学部	デザイン文化学科	中尾 紀行 先生	07
	生物学科	笠原 宏一 先生	07
	海洋生物科学科	和泉 光則 先生	14
		大橋 正臣 先生	20
		野坂 裕一 先生	21
総合教育研究センター	資格教育センター	朝倉 徹 先生	04* 05 11
		稲垣 智則 先生	16
	社会教育学系	篠原 聡 先生	12
		竹之内 禎 先生	24
	英語教育学系	星野 芳恵 先生	18
	語学教育センター	安 小鉄 先生	06
		キム ミンス 先生	17
		佐藤 浩一 先生	10
		中島 仁 先生	14
	留学生支援教育学系	倉田 尚美 先生	25
理系教育研究センター		及川 義道 先生	02
		栗田 太作 先生	22
		永野 光浩 先生	14
		堀澤 早霧 先生	20

「大学オンライン番組ライブラリー※」を活用した授業事例

本学では、大学の講義やゼミに役立つNHKの番組をセレクトした配信サービス「大学オンライン番組ライブラリー」を提供しています。

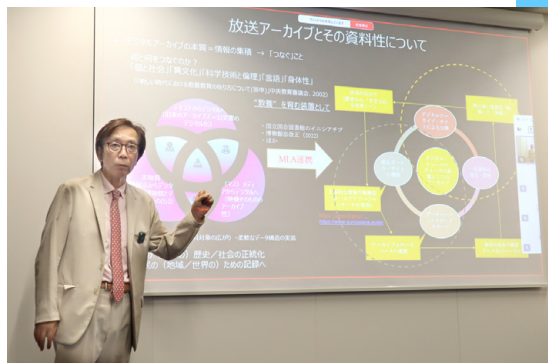
今回は、学長室部長(MLA連携担当)の水島久光教授(文化社会学部広報メディア学科)に「大学オンライン番組ライブラリー」を活用した授業実践事例と活用ポイントについて紹介いただきました。

水島教授は、海外の社会問題を扱ったドキュメンタリー番組を題材に取り上げた授業を例に挙げ、番組の構造やキーワードを読み解きながら、学生に対して「社会課題の背景には何があるのか」「登場人物はどのような立場から発言しているのか」「どのような解決策が示されているのか」「自分ならどのように考えるか」という問いを投げかけていく過程を説明。事前課題として、学生に何のアドバイスもなく視聴させ、授業で上記のような解説をしながら学生に考えさせていく、というパターンも紹介されました。

「大学オンライン番組ライブラリー」は、映像を通して学生が社会とつながり、多様な視点から物事を捉える機会を提供する学習資源です。授業やゼミ、課題学習の中で活用し、学生の主体的な学びを引き出す教材として、ぜひご活用ください

※「大学オンライン番組ライブラリー」とは

東海大学の学生、教職員なら、PC・スマホ・タブレットでいつでもどこでも無償で見ることができます。「プロジェクトX」「NHKスペシャル」「100de名著」など、歴史的に貴重な映像、難しい内容を分かりやすく紹介する番組など、約300本の映像コンテンツを提供しています。



POINT

大学オンライン 番組ライブラリー

授業で「大学オンライン番組ライブラリー」を活用するポイント

1. 反転学習の教材として

事前に映像を視聴してもらうことで、授業時間を議論や発表に充てることができます。

2. ディスカッションのきっかけとして

AI、環境、歴史、国際情勢、文化など、多様なテーマについて学生同士の対話を促すことができます。

3. 批判的思考を養う教材として

映像の内容だけでなく、「誰が・何を・どのように語っているのか」を分析することで、情報を読み解く力の育成につながります。

4. レポートや探究課題の題材として

キーワード抽出、論点整理、比較分析など、アクティブ・ラーニング型の課題に展開できます。

5. 教養教育と専門教育をつなぐ教材として

社会的背景の理解や専門分野への導入など、学部・学科を問わず幅広く活用できます。



ログイン方法

① 以下URLにアクセス

https://sso.daigakutv.jp/sso/login/tokai_ms



② Microsoft 365のID・パスワードでサインイン



各種アンケートを実施

東海大学では、学修状況や教育環境の改善のため、以下のようなアンケートを実施しています。
今後も入学から卒業まで、学生一人ひとりの声に耳を傾け、学びの場の充実に努めていきます。

① 授業についてのアンケート

受講学生からの“声”を教員へフィードバックし、魅力ある授業づくりにつなげている

今年度は以下の日程で実施予定です！

「いい授業」をつくるため、学生の皆さんの率直な“声”をお寄せください！！

- ・ 春学期 **2026年6月15日(月)から9月2日(水)まで**
- ・ 秋学期 **前半講義分(全7回授業)：2026年10月12日(月)から11月30日(月)まで**
その他科目：2026年12月1日(火)から2027年3月4日(木)まで

※TIPSを活用したWEB方式で実施します。詳細はTIPSにてお知らせします。

② PROGテスト(1年次生・3年次生)

ディプロマ・ポリシーに基づく学修成果の可視化と自身のキャリアデザインに役立てている

③ 卒業にあたってのアンケート

卒業時に大学全般のことについて広く意見を集め、今後の教育環境改善に役立てている

2026年度「授業参観」及び Teaching Award受賞者の「授業公開」の実施

東海大学では、優れた授業の展開や組織としての教育力向上につなげる観点から、教員相互の「授業公開」「授業参観」をFD活動の重要な手段のひとつとしています。

また、2025年度Teaching Award受賞者の先生方にご協力をいただき、教職員を対象に「授業公開」を実施します。詳細は、近日中にお知らせいたします。

FD・SD研修動画

過去に開催したFD・SD研修会の動画を教職員対象に公開しています。授業改善のヒントとしてご活用ください。

【テーマ】(一部抜粋)

「学生に伝わる話し方」「授業設計の基礎知識」「シラバスのブラッシュアップ」

動画は[こちら\(SharePoint\)](#)からアクセスしてください。



発行：東海大学 編集：東海大学 学長室(教育支援担当)
TEL:0463-63-4824 E-mail: shien-fdsd@tokai.ac.jp
東海大学オフィシャルサイト「FD・SD活動」ページ：
<https://www.u-tokai.ac.jp/education-research/improvement/>

東海大学 FD・SD

検索

